（第二版）（明治卅一年五月一日第三種郵便物認可）　昭和十八年一月十九日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百一號　（一）

夕刊 臺灣新報 一月十八日 夕刊二部一部定價 本月分金 壹圓 本社臺北市 電話番號 昭和十八年 臺灣新報社 臺北市 臺灣日日新報社 臺灣新報社 臺灣日日新報社 臺灣新報社 臺灣日日新報社 臺灣新報社

『通信兵魂遺憾なく發揮』

死して尚キーを握る

船津一等兵二階級昇進

【東部ニューギニア○○十九日發電同盟】敵の猛爆下に戰ひながら敵機に向つてキーを叩きつづけ、敵機は遂に地上の一角に墜落炎上したが、この敵機墜落の瞬間、その一部は勇士船津一等兵の身體に當つて船津一等兵は壯烈な戰死を遂げた、敵の中に部下の通信兵を指揮して奮戰した船津一等兵の行爲は○○部隊全將兵を感激せしめてゐるが、同一等兵は二階級進級した

極寒の北洋上にて敵機邀撃の海の勇士（寫眞は海軍省提供）

師魂錬成報國隊

國校訓導で一齊に結成

【臺北州發】今回一二八師團の國境警備の大命下るや、臺北州下においても何の支度もなく、軍隊と共に國境に赴き、軍隊と共に生死を誓ふ内地人青年訓導で組織する報國隊が、去る十二月廿日から廿九日迄の間に、州下各地で續々結成されたが、その數は實に十數隊に上り、隊員數は實に四百數十名に達してゐる、隊員は何れも十八日正午、州廳前廣場に參集、出發の壯行式を擧げ、北國雪原の露と消ゆる覺悟を以て、勇躍國境へ向つて出發した

海強者の勇戰に感激

島民赤誠の獻金

【東部ニューギニア○○十九日發電同盟】敵の猛爆下に戰ひながら敵機に向つてキーを叩きつづけ、敵機は遂に地上の一角に墜落炎上したが、この敵機墜落の瞬間、その一部は勇士船津一等兵の身體に當つて船津一等兵は壯烈な戰死を遂げた、敵の中に部下の通信兵を指揮して奮戰した船津一等兵の行爲は○○部隊全將兵を感激せしめてゐるが、同一等兵は二階級進級した

嗜好品の經濟地域

臺北州で三地區を設定

【臺北州發】今回一二八師團の國境警備の大命下るや、州廳前廣場に參集、出發の壯行式を擧げ、北國雪原の露と消ゆる覺悟を以て、勇躍國境へ向つて出發した

實踐運動の連絡化へ

奉壯地域別協議會開く

二億へあと一息

功勞者と懇談會開く

戰艦獻納運動に淨財

ソロモン海戰勇士が獻金

南京政府を激勵

今夜 臺北華僑聯合會講演會

樂壇の建設に邁進

米英音樂の閉出しから

一萬二千名

基隆市郡若櫻の志願者

揃つて卅八名志願

幹部の錬成會開催

臺灣從軍記念會

王侯の傳統今も殘る

(三) 中部ジャワの旅印象記

5年10年の胃腸病が

一粒で

胃腸藥 イカンタ

中島製藥代理店
契約に關す

後二國志

(1) (赤壁の巻)

吉川英治作　矢野橋村畫

防空防火に

防火覆面

防火武裝普及本部　帝國防火研究所

臺灣新民報
日本夕刊共六頁
（第二版）（明治卅一年五月一日第三種郵便物認可）昭和十八年一月十九日（火曜日）
臺灣日日新報 第一万五千四百一號 A (一)

陸軍關係論功行賞

大東亞戰 死歿者も恩命に浴す

海軍關係論功行賞

支那事變 生存者（第十七回）死歿者（第十九回）

【東京發同盟】十七日發表された支那事變並に大東亞戰爭に於ける陸軍關係論功行賞（生存者の部）は左の通り

【東京發同盟】十七日發表された支那事變並に大東亞戰爭に於ける海軍關係論功行賞（生存者の部）は左の通り

【東京發同盟】大東亞戰爭は巨大なる消耗を戰と共に長期の長期戰態勢に入り、この戰爭の勝利を確實ならしむるためには戰爭遂行の基礎たる國力の擴充發展を期すると共に戰爭の一元的强化を圖ることが絶對に必要である、これに鑑み政府は昭和十八年度に於ける

社說

大東亞戰下學徒の立場
學制改革精神を即時實踐へ

一

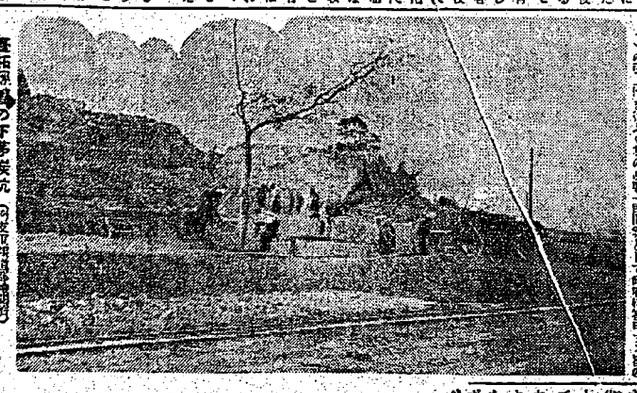
さる外國人の一記者が、日本を去るに當つて感慨した言葉に「今日、世界の主要交戰國中で、學生と女性とを問題としてゐないのは唯日本のみである」の一節がある。これは若き青年と若き乙女とが國家動力發の源泉の中にあつて、世界を擧げて國家の爲に奉仕させる日本の大東亞である。國のことを何人もの外國人や外國語の新聞が東京の地に於て報道されて來た。然り、帝都東京の地を踏んでみると、街は若い學徒の群が、街の如く滿ち溢れてゐる。大東亞戰下の日本、何百萬もの大衆を支配する日本精神の源泉に、力強く動いてゐる日本人として、よくも女子と關せず、學生生徒の群にも手を拍かずして、此の大國策が實行できようものと驚嘆させられる。

二

これといふのも、國家が學徒の教育と指導とに對する絶大の關心と、施策とがあつたことに依因の關係がある。青年學徒をして安んじて學業に從事させようとの大きな温かい御こころに對つても、これにお應へしなければならぬ。然るに、今日の如き大東亞戰爭の緊迫した時局は、學徒をして、此の國家の御期待に應じ、大東亞の建設に參加せしめるところの緊かつ重大なる使命を與へてゐるのである。從つて今後の學徒教育は、從來の方針を變更し、學生生徒に對し、國家の大局に對つて、學業の目的の眞意を闡明し、學徒をして、一日も早く國家の要請に應じ得るやうに、速に指導錬成を急がなければならないのである。

三

今回政府は、數個の法令の改正を斷行し、學生のこの四月から實施を斷行することになつたが、學徒の先づ爲すべきことは、何よりも、中等學校、高等學校、專門學校を通じてその教育目的が「皇國の道に則る國民錬成」の一點に歸一したことである。これに依て國民學校に於ける初等科教育の大道が一貫して明示され、これが以後に於ける教育の辿るべき道の開いたことを意味したのである。從て今後の小學校は國民學校と改稱し、學生生徒に對し、國家の大局に對つて、學業の目的の眞意を闡明し、學徒をして、一日も早く國家の要請に應じ得るやうに、速に指導錬成を急がなければならないのである。


臺拓經營の下茅炭坑（炭層露出の採掘現場）

南支建設の
原動力―石炭增產へ
日華人渾然協力
(上)
雄々しき鶴嘴戰士の敢闘

在廣東臺拓經營の下茅炭坑【廣東支局發】資料自給の一助としての地場資源の開發に多少なりとも貢獻へんと昭和十五年三月開坑、現業主任北九州三井三池、大同炭出身井上勇氏以下日本人十名、苦力百五十名を以て發足、爾來着々增產の實績を擧げ、今や月產千二百噸を算するに至つた。

◇下茅炭坑は河口から北は廿四哩の地點、廣東から北は廿哩の地點にあり、廣東から北江汽船、或は陸路自動車で僅か數時間の交通の便に惠まれてゐる。坑口は海拔百米の山腹にあり、坑口から約二百米の地點に事務所、倉庫、苦力宿舍、病院、浴場、炊事場等が建てられてゐる。

◇下茅炭坑の炭層は露出炭層で、炭質は無煙炭に屬し、發熱量は八千乃至八千五百カロリーを算し、硫黄分は僅かに〇・五乃至一・〇%、灰分は一〇乃至一五%、揮發分は五乃至七%、固定炭素は七五乃至八〇%を示し、品質は極めて良好である。

◇坑口から廣東に至る交通は、北江汽船、或は陸路自動車で僅か數時間の交通の便に惠まれてゐる。

米增產が何よりの御奉公

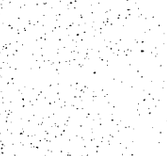
彈丸に代る米作れ

井野農相 士の戰士を激勵

【内原発】井野農相は十八日内原訓練所川和田の出張所に於ける食糧増産に関する懇談会に出席午後十時二十分から訓練所内に於ける開拓青少年義勇軍幹部との懇談会に臨んだ【要旨は次の如し】

北はアリューシャンから遠く南はソロモン群島など長期から伸れきつた食糧の御救恤金傳達式きのふ基隆市で

【基隆特電】基隆市では十八日午前十時から市役所に於て昨年十月十一日の空襲に際し殉職した市役所職員の遺族に対する救恤金の傳達式を挙行した



この際井野農相は次の如き訓辞を述べた

敬意と感謝を捧げてゐるのであります、これが若し三万の一人しか参加されなければそれだけ多くの犠牲者を出すことになるのであります、これが若し一万に減ずればそれだけ多くの犠牲者を出すことになるのであります、従つて我々は一人の犠牲者に対しても最善の努力を拂つて之に報いなければならぬのであります、これが為には

鏑を削る武者繪巻

僻隊地に擧る榮冠獲得の雄叫び

高雄遂に五萬を突破

【高雄電話】高雄州下における志願兵の受付は十五日迄の受付が四七、九九九名であつたが、十七日に二、二八六名を加へて遂に五萬を突破し十七日に於ける各地の受付は左の如くである

高雄市　六四一
岡山郡　四〇四
鳳山郡　二七〇
屏東郡　八二三
潮州郡　二九五
恒春郡　四六九
東港郡　七四
（外地除く）
計　二、九六六
（外地除く七四）

【臺中電話】臺中州下における十六日までの若獅志願兵受付者は左記の一四三千五百六十九名を算出し、大正十二年一月廿八日生れより七十歳にて及びにより割り當てられた人員四十五名（うち外地除く二百二十三名）になつた所、出十五名、志願兵受付者六十五名あり、無上の榮冠を擔はんものと熱烈な志願を續しつゝある

臺中市　六四
豐原郡　四〇
東勢郡　一四
大甲郡　一〇
外地　三
計　一四三

【臺南電話】臺南州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺南市　一、三〇〇
新豐郡　四〇〇
新化郡　三〇〇
新營郡　三〇〇
北門郡　一〇〇
佳里郡　二〇〇
學甲郡　一〇〇
麻豆郡　三〇〇
鹽水郡　二〇〇
白河郡　一〇〇
關廟郡　一〇〇
玉井郡　一〇〇
楠梓郡　一〇〇
岡山郡　一〇〇
橋頭郡　一〇〇
仁武郡　一〇〇
大社郡　一〇〇
阿蓮郡　一〇〇
路竹郡　一〇〇
岡山郡　一〇〇
湖內郡　一〇〇
茄萣郡　一〇〇
永安郡　一〇〇
彌陀郡　一〇〇
梓官郡　一〇〇
旗山郡　一〇〇
美濃郡　一〇〇
六龜郡　一〇〇
甲仙郡　一〇〇
杉林郡　一〇〇
內門郡　一〇〇
茂林郡　一〇〇
桃源郡　一〇〇
三民郡　一〇〇
計　六、四〇〇

【臺北電話】臺北州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

基隆市　四〇
瑞芳郡　一〇
七堵郡　一〇
汐止郡　一〇
宜蘭郡　一〇
羅東郡　一〇
蘇澳郡　一〇
頭圍郡　一〇
礁溪郡　一〇
五結郡　一〇
冬山郡　一〇
計　一七〇

【新竹電話】新竹州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

新竹市　四〇
竹東郡　一〇
新竹郡　一〇
苗栗郡　一〇
大湖郡　一〇
公館郡　一〇
頭份郡　一〇
三灣郡　一〇
南庄郡　一〇
計　一四〇

【臺中電話】臺中州下における十六日までの若獅志願兵受付者は左記の一四三千五百六十九名を算出し、大正十二年一月廿八日生れより七十歳にて及びにより割り當てられた人員四十五名（うち外地除く二百二十三名）になつた所、出十五名、志願兵受付者六十五名あり、無上の榮冠を擔はんものと熱烈な志願を續しつゝある

臺中市　六四
豐原郡　四〇
東勢郡　一四
大甲郡　一〇
外地　三
計　一四三

【臺南電話】臺南州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺南市　六四
新豐郡　四〇
新化郡　三〇
新營郡　三〇
北門郡　一〇
佳里郡　二〇
學甲郡　一〇
麻豆郡　三〇
鹽水郡　二〇
白河郡　一〇
關廟郡　一〇
玉井郡　一〇
楠梓郡　一〇
岡山郡　一〇
橋頭郡　一〇
仁武郡　一〇
大社郡　一〇
阿蓮郡　一〇
路竹郡　一〇
岡山郡　一〇
湖內郡　一〇
茄萣郡　一〇
永安郡　一〇
彌陀郡　一〇
梓官郡　一〇
旗山郡　一〇
美濃郡　一〇
六龜郡　一〇
甲仙郡　一〇
杉林郡　一〇
內門郡　一〇
茂林郡　一〇
桃源郡　一〇
三民郡　一〇
計　六、四〇〇

【臺北電話】臺北州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

基隆市　四〇
瑞芳郡　一〇
七堵郡　一〇
汐止郡　一〇
宜蘭郡　一〇
羅東郡　一〇
蘇澳郡　一〇
頭圍郡　一〇
礁溪郡　一〇
五結郡　一〇
冬山郡　一〇
計　一七〇

【新竹電話】新竹州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

新竹市　四〇
竹東郡　一〇
新竹郡　一〇
苗栗郡　一〇
大湖郡　一〇
公館郡　一〇
頭份郡　一〇
三灣郡　一〇
南庄郡　一〇
計　一四〇

【臺中電話】臺中州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺中市　六四
豐原郡　四〇
東勢郡　一四
大甲郡　一〇
外地　三
計　一四三

【臺南電話】臺南州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺南市　六四
新豐郡　四〇
新化郡　三〇
新營郡　三〇
北門郡　一〇
佳里郡　二〇
學甲郡　一〇
麻豆郡　三〇
鹽水郡　二〇
白河郡　一〇
關廟郡　一〇
玉井郡　一〇
楠梓郡　一〇
岡山郡　一〇
橋頭郡　一〇
仁武郡　一〇
大社郡　一〇
阿蓮郡　一〇
路竹郡　一〇
岡山郡　一〇
湖內郡　一〇
茄萣郡　一〇
永安郡　一〇
彌陀郡　一〇
梓官郡　一〇
旗山郡　一〇
美濃郡　一〇
六龜郡　一〇
甲仙郡　一〇
杉林郡　一〇
內門郡　一〇
茂林郡　一〇
桃源郡　一〇
三民郡　一〇
計　六、四〇〇

【臺北電話】臺北州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

基隆市　四〇
瑞芳郡　一〇
七堵郡　一〇
汐止郡　一〇
宜蘭郡　一〇
羅東郡　一〇
蘇澳郡　一〇
頭圍郡　一〇
礁溪郡　一〇
五結郡　一〇
冬山郡　一〇
計　一七〇

【新竹電話】新竹州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

新竹市　四〇
竹東郡　一〇
新竹郡　一〇
苗栗郡　一〇
大湖郡　一〇
公館郡　一〇
頭份郡　一〇
三灣郡　一〇
南庄郡　一〇
計　一四〇

血書〝盡忠〟の大決意

森田兵事課長も赤誠に感激

【臺南電話】臺南州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺南市　六四
新豐郡　四〇
新化郡　三〇
新營郡　三〇
北門郡　一〇
佳里郡　二〇
學甲郡　一〇
麻豆郡　三〇
鹽水郡　二〇
白河郡　一〇
關廟郡　一〇
玉井郡　一〇
楠梓郡　一〇
岡山郡　一〇
橋頭郡　一〇
仁武郡　一〇
大社郡　一〇
阿蓮郡　一〇
路竹郡　一〇
岡山郡　一〇
湖內郡　一〇
茄萣郡　一〇
永安郡　一〇
彌陀郡　一〇
梓官郡　一〇
旗山郡　一〇
美濃郡　一〇
六龜郡　一〇
甲仙郡　一〇
杉林郡　一〇
內門郡　一〇
茂林郡　一〇
桃源郡　一〇
三民郡　一〇
計　六、四〇〇

【臺北電話】臺北州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

基隆市　四〇
瑞芳郡　一〇
七堵郡　一〇
汐止郡　一〇
宜蘭郡　一〇
羅東郡　一〇
蘇澳郡　一〇
頭圍郡　一〇
礁溪郡　一〇
五結郡　一〇
冬山郡　一〇
計　一七〇

【新竹電話】新竹州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

新竹市　四〇
竹東郡　一〇
新竹郡　一〇
苗栗郡　一〇
大湖郡　一〇
公館郡　一〇
頭份郡　一〇
三灣郡　一〇
南庄郡　一〇
計　一四〇

【臺中電話】臺中州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺中市　六四
豐原郡　四〇
東勢郡　一四
大甲郡　一〇
外地　三
計　一四三

【臺南電話】臺南州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

臺南市　六四
新豐郡　四〇
新化郡　三〇
新營郡　三〇
北門郡　一〇
佳里郡　二〇
學甲郡　一〇
麻豆郡　三〇
鹽水郡　二〇
白河郡　一〇
關廟郡　一〇
玉井郡　一〇
楠梓郡　一〇
岡山郡　一〇
橋頭郡　一〇
仁武郡　一〇
大社郡　一〇
阿蓮郡　一〇
路竹郡　一〇
岡山郡　一〇
湖內郡　一〇
茄萣郡　一〇
永安郡　一〇
彌陀郡　一〇
梓官郡　一〇
旗山郡　一〇
美濃郡　一〇
六龜郡　一〇
甲仙郡　一〇
杉林郡　一〇
內門郡　一〇
茂林郡　一〇
桃源郡　一〇
三民郡　一〇
計　六、四〇〇

【臺北電話】臺北州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

基隆市　四〇
瑞芳郡　一〇
七堵郡　一〇
汐止郡　一〇
宜蘭郡　一〇
羅東郡　一〇
蘇澳郡　一〇
頭圍郡　一〇
礁溪郡　一〇
五結郡　一〇
冬山郡　一〇
計　一七〇

【新竹電話】新竹州下における志願兵受付は十五日現在にて上陸の通知にあるが十七日の受付數は、六千四百十二名、豫定六萬六千四十七名に對しこの外に五萬を突破してゆくと見込日までには尚多くの志願兵といふ歡喜の聲を擧げるものとみられてゐる

新竹市　四〇
竹東郡　一〇
新竹郡　一〇
苗栗郡　一〇
大湖郡　一〇
公館郡　一〇
頭份郡　一〇
三灣郡　一〇
南庄郡　一〇
計　一四〇

決戰生活へ

皇道精神を凝集

【臺南電話】大東亞戰爭を聖戰と信じ、この聖戰を遂行する國民の覺悟と決意に總督府を始め各官廳、各團體、各學校、各家庭は勿論、一般民衆が國際情勢の急轉化に對應し、國家總力戰體制の强化に邁進しつゝあることは、既報の通りであるが、この聖戰完遂の爲には、國民生活の上にも、從來の生活樣式を一擲して、眞に皇國臣民の道に徹し、皇國の一人一人が、皇國の興廢を擔ふ覺悟を以て、嚴肅な生活を營むことが、何よりも肝要であるとの見地から、州當局では、今般一月廿一日より二月十日迄の二十日間を擧げて、生活刷新運動を展開することゝなつた

燃烈な建艦運動を展開

目標額規定・打合會開催

【臺中電話】臺中州當局では、大東亞戰爭の偉大なる發展に應じ、愈々國防の强化を圖る爲、州下の實業家が國際情勢の急轉化に對應し、國家總力戰體制の强化に邁進しつゝあることは、既報の通りであるが、この聖戰完遂の爲には、國民生活の上にも、從來の生活樣式を一擲して、眞に皇國臣民の道に徹し、皇國の一人一人が、皇國の興廢を擔ふ覺悟を以て、嚴肅な生活を營むことが、何よりも肝要であるとの見地から、州當局では、今般一月廿一日より二月十日迄の二十日間を擧げて、生活刷新運動を展開することゝなつた

神饌料を奉納

皇奉新竹州支部で決議

【新竹電話】新竹州支部では大東亞戰爭完遂祈願祭第二日の一月廿二日に當り、州廳舍に於ける祈願祭に際し、州下の各神社に奉納する神饌料として金壹千八百圓也を奉納することゝなつた

譽の表彰

【彰化電話】彰化市西門二五の美容師、治部はる子は今回出征軍人家族として慰問に際し、その誠意に對する感謝狀を贈られた

郷軍射撃大會

【新竹電話】警察官講習所生徒分會では決戰下分會の士氣を昂揚するため十日廿九日より九日迄の間同所において第一回射撃大會を開催したが、當日は北風强く、且つ小雨降る惡條件下にあつたにも拘らず、參加者は百名の多數に上り、午前中は各自の成績を競ひ、午後は各分隊對抗射撃を行ひ、午後四時頃全部終了した、尚ほ當日の成績は次の如くである

軍旗の下に

殺到する志願者の群

第二次徴兵適齡者は去る十日から徴兵官へ、各徴兵官から徴兵官へと移り變つてゐた、各徴兵官へ、各徴兵官へ、各徴兵官へ